



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 55 附2

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 55 附2. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1957, 55(附2): 80-81

ISSUE DATE:

1957-04-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186813>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会

水族館月報

No.55 (附2)

1957.3月(4月5日)

第6回(1957年度)委員会議題案

委員会開催予定日時: 1957年5月1日午前9時(於臨海実験所特研会議室)

会議に先立ち、午前9時より研究室事務室にて監事による帳簿の監査を行ない、

終了次第、特研会議室に委員参集のこと。

1 議長送出、新委員の紹介

2 議事決定

3 1956年度経理報告及び事業報告

4 同上に対する監事の監査報告

5 1957年度予算案提出

イ 金 ^{10,005,928}10,435,928円 歳入見込

金 ^{10,005,928}10,435,928円 歳出見込

ロ 支出予想経費

経常部 7,644,041円

水族館経費 5,260,041円

(内 積立金 1,458,000円

実験所経費 1,546,000円

博物館経費 838,000円

臨時部 1,741,887円

6 臨時事業の説明

7 諸施設改善費を事業収入の $\frac{1}{6}$ より $\frac{1}{5}$ に改めること

8 施設改善積立金の使途決定

第1条 取員宿舍の全部を本年度内に建築し、残余金を翌年以後の水族館
改築資金として残す。

第2条 取員宿舍の一部と船揚場を建設する

第3条 水族館の改築を積立金のある範囲内で工率の一部を進めていく

9 定員の増加

イ 博物館に研究員1名増

ロ 水族館に経理事務員1名増

10 研究奨学金規定の改訂

研究奨学金を1人年額6万円より9万6千円に増額し(第4条)、
採用条件を緩和する

11 博物館活動のための実施行事

イ アクアラング技術講習会

ロ 水族館技術者のための臨海実習

12 明光バス会社の観光券支拂遅滞を改善する対策審議

13 番所山動植物園との連帯券及びその取扱いに関する審議

14 町当局及び観光協会に対する要望

実験所前にモータープール及び公衆便所施設設置の促進、水道完成
の見通し

15 常務委員の退任申出でと次期常務の推薦